

2025 年度 鏡影会主催 講演会

よもやま話 海は意外と曲者 ～元 海の男が語る”海”との付き合い方～

今年度の講演会は、24回生の大貫伸（おおぬきしん）さんに講演頂きます。大貫さんは大型船の船長や航海士として世界中の海を航海されてきたご経験をお持ちです。

◆日時：2026年3月14日（土） 14時～16時
(受付開始：13:30)

◆会場：同窓会コモンズ4階 共用室

◆お申込みおよびお問い合わせ

メール：seminar@kyoueikai.com

FAX：03-6304-1602

お名前（ふりがな）、卒業年（又は回生）、連絡先（当日の緊急連絡などのため）、人数をご記入下さい。

定員になり次第締め切ります。

準備の都合上、お早めにお申込み頂けると助かります。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

◆大貫伸さんプロフィール

1973年 お茶の水女子大学附属中学校卒業

1980年 東京商船大学航海科卒業

同年 山下新日本汽船（株）入社

1998年 （公社）日本海難防止協会入社

2012年 日本環境災害情報センター会長

2018年 内外地図（株）入社、執行役員社長室長

2023年 一般社団法人地図協会理事

環境省水鳥救護研修センター非常勤講師、
一般社団法人山縣記念財団評議員、海事補佐人、
国際航海船長資格（一级海技士航海）



◆講演概要

海は映画や文学の世界では「ロマン」「癒し」「母なる存在」など、やさしく包容力のある好印象のイメージで語られることが多い。

しかし、実際に海と向き合うと…、そうではない。



その印象は一変する。海はむしろ我々人間にとって、「かなり手ごわく、なかなか正体が読めない”曲者”」である。

一方、そのことを正しく理解してさえいれば、海とは安全・安心に長く付き合うことができる。

海のことを理解し、約40年にわたり付き合い続けた私が、海に関する”よもやま話”をお伝えしたいと思う。



- ・イランイラク戦争の経験、甲板の日の丸塗装と土嚢つくり！
- ・湾岸戦争の経験、ホルムズ海峡から日本へ宛てた遺書！
- ・北太平洋の悲劇、ハンジン・インチョン号の遭難！
- ・ペルシア湾の脅威、恐怖の大規模洋上砂嵐！
- ・海賊を”真人間”に更生させた究極のアイディアとは！
- ・ナンの窯焼き少年とムンバイ同時多発テロ！
- ・沖の鳥島、マスコミ上陸作戦を成功させよ！
- ・犯人は誰？オレンジ色に染まった海鳥たちを救出せよ！
- ・特命、海岸漂着ごみを離島の燃料にせよ！
- ・黒い海、突如深海に消えた第58寿和丸の悲劇とは！
- ・月虹とピンクのイルカ！

